



全国学力・学習状況調査 及び 福岡県学力調査について

令和6年4月18日(木)に第3学年を対象として実施された、「全国学力・学習状況調査(国語、数学、生徒質問紙)」及び令和6年6月18日(火)に第1・2学年を対象として実施された「福岡県学力調査」の結果についてお知らせします。また、この調査結果をもとに本校教育の成果と課題を分析したうえで、今後の改善・充実のための取組も合わせてお知らせいたします。

1. 全国学力・学習状況調査 福岡県学力調査とは

【調査の目的】

- ◇ 全国学力・学習状況調査(第3学年対象)
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立させるものです。
- ◇ 福岡県学力調査(第1、2学年対象)
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県内各地域における児童生徒の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、各学校が、児童生徒の学力の状況を把握し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るものです。

【調査の内容】

	実施学年	調査内容・問題の種類	
全国学力・学習状況調査	第3学年	国語	学習指導要領に示されている知識及び技能、思考力、判断力、表現力等の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選した出題
		数学	基礎的・基本的な知識及び技能や、その知識及び技能が、問題解決をしていく過程でどのように用いられているかについて明確にした出題
		生徒質問紙	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
福岡県学力調査	第1・2学年	国語	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容を問う問題
		数学	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容を問う問題

以上の目的と内容を踏まえ、本校では学力状況調査問題を次のようにとらえています。

調査の結果は、生徒が身につけるべき全ての学力を示すものではなく、また単に、正答率に注視することで終わるのではなく、現状の分析と今後の取組、例えば課題を解消するための授業指導技術の向上の大切な資料として活用します。また、学校だけの成果や課題で完結するのではなく、コミュニティ・スクールの強みを生かし、学校・家庭・地域の三者が協働して子ども達の学力向上に取り組んでいきます。

2. 調査の結果及び分析と改善点

【3年生】

● 結果

全国学力学習状況調査 平均正答率(3年生)	
国語	数学
全国及び県平均とほぼ同じ	全国及び県平均をやや上回っている

● 分析と改善点(継続内容と改善点)

国語	分析	【成果】 ○ 概ね県・全国平均を上回っている。なかでも、話し合いの中の発言について説明したり、話し合いの発言を踏まえ、自分の考えを述べたりする問題、表現技法を理解しているかを問う問題で、県・全国平均を上回る比率が特に高かった。 【課題】 ● 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する問題では、図の役割を適切に説明することに課題があった。
	継続内容と改善点	☆ 言葉の特徴や使い方に関して、漢字や語句などの小テストを通して、基礎・基本のさらなる定着を図ります。 ☆ 記述の問題や課題作文の演習に取り組む時間を増やし、自分の考えが分かりやすく伝わるように根拠を明らかにして、的確に表現する力を伸ばします。
数学	分析	【成果】 ○ 県・全国平均を大幅に上回っている。特に、データの分布から、四分位範囲を読み取る問題については、昨年の課題を克服することができた。 【課題】 ● 「一次関数」の単元において、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を問う問題において、数学的に説明することに課題があった。
	継続内容と改善点	☆ 小テストや単元テストを通して式の展開と因数分解、平方根、二次方程式、関数、平面図形、空などの基礎的な知識や技能の定着を図ります。 ☆ 二学期に学習する「関数 $y=ax^2$ 」の単元において、ICTを活用し、式とグラフの特徴を関連づけて考える問題を多く取り入れます。その際、1・2年生で学習した「比例・反比例」「一次関数」の単元の復習をしていきます。

【2年生】

● 結果

福岡県学力調査 平均正答率(2年生)	
国語	数学
県平均と比べて ほぼ同じ	県平均と比べて やや下回っている

● 分析と改善点(継続内容と改善点)

国語	分析	【成果】 ○ 知識及び技能の領域で、表現技法の説明として適切なものを選んだり、直喩を用いた表現にしたりする問題、また、漢字の行書の特徴を理解しているかを問う問題は平均を上回っていた。 【課題】 ● 必要な情報に着目して要約したり、場面と描写を結び付けて内容を解釈する問題、また、自分の考えを根拠を明確にして書いたり、条件に従って書いたりする問題に課題が見られた。
	継続内容と改善点	☆ 漢字や語句、文法などの小テストを行い、基礎基本の定着を図ります。 ☆ 文学的な文章の読み取り方、説明的文章の読み取り方の違いについて演習を通して経験させ、内容を理解できるようにしていきます。 ☆ 自分の考えや根拠を明確にして書いたり、条件に従って書いたりすることを各単元で取り入れていきます。
数学	分析	【成果】 ○ 「関数」では、yがxの関数でないもの選ぶ問題やおうぎ形の半径が2倍すると、この長さも2倍するといった比例関係を探る問題では県平均を上回っていた。 【課題】 ● 「数と式」では、指数やかっこを含む計算や一次方程式を立式したり解いたりすることに課題が見られた。
	継続内容と改善点	☆ 1年生に学習した内容を適宜取り入れ、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ります。 ☆ 授業の中で“まとめ”に向かう中でペアや班で教え合う活動を確保し、アウトプット活動を取り入れて、学習内容の定着を図ります。

【1年生】

● 結果

福岡県学力調査 平均正答率(1年生)	
国語	数学
県平均と比べて ほぼ同じ	県平均と比べて ほぼ同じ

● 分析と改善点(継続内容と改善点)

国語	分析	【成果】 ○ 概ね平均を上回っている。中でも、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして伝えよう内容や相手に伝わるように話の構成を考えるとといった話すこと・聞くことの領域の正答率が高かった。 【課題】 ● 文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題と修飾・被修飾の関係を問われた問題に課題が見られた。
	継続内容と改善点	☆ 文学的な文章や説明文の学習を通して、文章の内容を理解したり、要旨を把握したりする力を、さらに伸ばしていきます。 ☆ 漢字や文法などの小テストを継続し、基礎基本の定着を図るとともに、語彙数を増やし、言語感覚を豊かにしていきます。
数学	分析	【成果】 ○ 「数と計算」では、小数÷小数(余りあり)の計算問題で県平均を上回っていた。 【課題】 ● 「データの活用」では、全体の人数と百分率で表した割合から条件にあった人数を求め、比較し、正しいかどうかを説明することに課題があった。
	継続内容と改善点	☆ 小学校の復習を適宜入れ、単元ごとの振り返りや小テストを行ったり、教え合い学習を取り入れることで、基本的な知識・技能の定着を図ります。 ☆ どの単元においても、導入や活用で身のまわりの事象からの課題をとりあげ、実生活の様々な場面に数学的な見方・考え方を活用する活動を充実させていきます。

3. 生徒への質問事項について

3年生で実施された、「全国学力・学習状況調査の質問紙」と同じような内容の質問を、令和6年度前期学校自己評価においても実施していますので、本校生徒自身が回答した内容と傾向についてお知らせいたします。

【評価概要】アンケートの質問に対し生徒は4段階で回答※。このうち4と3の回答割合を合計したものを自己評価に記載しています。(※4=とてもあてはまる/3=あてはまる/2=あまりあてはまらない/1=あてはまらない)

全国学力・学習状況調査		前期学校自己評価(生徒回答)			コメント	
質問項目	全国・県との比較(3年生)	質問項目	3年生(%)	2年生(%)		1年生(%)
①自分には良いところがある。	全国・県とほぼ同じ	同左	87.7	84.6	76.4	▶「自分には良いところがある」といった自尊感情については学年が上がるにつれ高い傾向にあります。「人の役に立つ人間になりたい」という感情は全国・県とほぼ同じ傾向ですが、自らボランティアなどに参加するといった行動は学年間に差があるようです。また、「いじめは絶対に許さない」という意思を持った生徒は、どの学年も高いです。このように正義感や思いやりを持った生徒が本校には多く見られますが、生徒自身が学校行事や家庭、地域で活躍する機会を今後も継続して仕組んでいきたいと考えています。 ▶自分の将来に向かって学習や物事に取り組むことに対しては、3年生で高い傾向にあります。家庭学習の時間に関しては1・2年生のポイントが低く、生徒が家庭学習の大切さを実感していないことが要因として考えられます。家庭学習の大切さについては、学校通信などを通して少しずつ浸透させるとともに補充学習の実施も行っているところです。今後は、授業後に学習を行える環境の整備や、各教科における適切な課題の設定など、個に応じた学習の定着を図っていききたいと考えています。 ▶地域の行事への参加については、少しずつ行事が増えたことや、コミュニティ・スクールの強みである地域連携の成果がポイントとして表れていると考えられます。しかし、地域や社会をよくすることへの関心をもち参画することに対しては、1・2年生が低い傾向にあります。現在、ボランティア部や防災リーダーの活動を通して地域参画への意識を拡げる取組を行っていますが、今後も生徒が主体的に地域の課題解決に取り組める機会をもつようにしていきたいと考えています。
②将来の夢や目標を持っている。	全国・県とほぼ同じ	自分の希望を叶えるため必要なことに取り組んでいる	76.4	58.4	71.7	
③人の役に立つ人間になりたい。	全国・県とほぼ同じ	すすんで地域の行事やボランティアに参加している	67.9	43.1	45.2	
④いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	全国・県とほぼ同じ	同左	98.7	96.4	96.0	
⑤学校の授業時間以外に、平日“1日1時間以上”勉強をしている。	全国とほぼ同じ 県をやや上回っている	同左	74.2	39.0	59.9	
⑥地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う。	全国・県を上回っている	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	84.0	64.2	67.1	